



2021年11月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 高橋 治
 編集責任者 白江 浩
 編 集 佐藤 環
 〒982-8544

仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL022(243)1300

http://www.arinomama.or.jp
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)
 2021年11月12日発行 SSKO通巻10930号

ありのまま自立大賞 20年をふり返って

当舎の大きな事業として開催していた「ありのまま自立大賞」は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため2年続けて中止となりました。自立大賞は約一年かけて推薦、選考会議、面接調査を行い受賞者を決定し、仙台で記者発表と授賞式を行ってきました。選考範囲は全国となり、書面だけでは伝わらないお人柄や思いを面接調査で行うことを重要視してきましたが、コロナの影響で直接会うことが難しくなりました。一年を通しての選考作業が啓発活動であり、報道関係者の皆様にも取材していただき自立大賞の意義を多くの方に伝えてきました。

今年「ありのまま自立大賞」は設立から20年を迎えました。残念ながら自立大賞は中止となりましたが、これまで受賞された方々のその後の活動やご活躍、また選考委員長と選考委員の方からは、20年を振り返り今後の自立大賞への思いを2回に分けてご紹介したいと思います。

自立大賞は1999年に寛仁親王殿下と山田富也専務理事によって創設されました。『たとえ、ベッド上での生活であっても、たとえ暇しか動かせないとしても、残された可能性を最大限生



第21回授賞式の様子(2019年7月)

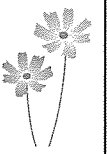
かし、自分のやりたいことを実践している人々のことを伝えたい。「障害」や「難病」をこえて「自立した生活」があること知ってほしい。『趣旨や選考基準は、当時何度も議論を重ね、現在もその内容に添って選考が進められています。これまで36名・7団体が受賞され、受賞後も様々な場面で活躍をされておられます。その姿をご紹介します。

薫る風

十月に入り、全国的に新型コロナウイルスの感染者が大きく減少し、重点措置、緊急事態宣言も解除された。第六波を心配しつつ、多くの人が安堵の顔でインタビューされているのを見た。しかしながら、福祉施設ではブレイクスルーと言われる二回の予防接種後も感染・発症し、クラスター化しているところが出ています。また重症化の可能性も予防接種により大きく低減されたが、ゼロではないし、基礎疾患等による重症化、生命に関わる事態が起きています。クラスターと重症化こそ防ぎたい事態で、そのリスクがある以上、それに備えなければなりません。インフルエンザ並の対策に近づきつつあると思いつつも、まだまだ全ての正体が明かされたとは言えない。「世の中では制限が緩和され、元の生活に戻りつつあるのに、ありのまま舎はまだか・・・」とこの指摘はごもつともではあるが、例年十一月から始めるインフルエンザ、ノロ、RS等の感染対策も相まって、このまま感染者が減っても元の生活に完全に戻るのは来春になるだろう。専門医も同様の見解で、個室とはいえ、常に接する機会のある入所施設では、制限の内容は様々でも何等かの制限を継続せざるを得ない。欧米と韓国、七か国の今回の新型コロナウイルスによる「障害」のある人への影響調査結果が米国の医学雑誌に発表された。身体「障害」の方の八割が精神状態の悪化が見られた。また、何らかの精神障害のある方の死亡率はいわゆる「健常」者の方に比して一、八倍高かった。主な原因は受診が控えられたり、できなかつたりしたためだ。情報が正しく伝わらない。十分理解できない。悪化する心身の状態に適切に対応できない。様々なニーズへの支援が社会的に準備されていないか、といったと思われる。今後のためにも多様な視点での検証が必要だ。

(白江浩)

創設から20年 歴代受賞者からのメッセージ



これまで受賞された方々より現在の様子とその後の活動につきましてもメッセージをいただきました。同じ障害を持った方々のために様々な分野で活躍されておられます。

第2回(2000年)

ありのまま自立大賞

福島 智 様

福島さんは自立大賞が創設された初の大賞を受賞されました。

9歳で失明、18歳で失聴しましたが盲ろうの重複障害としては日本で初の大学進学を果たされました。受賞後に東京大学助教授に就任され、現在は東京大学先端科学技術研究センター教授として活躍されておられ、バリアフリーや障害学の研究と教育に従事されています。お母様と考案した指点字を使い会話とコミュニケーションを図り、盲ろう者のコミュニケーション手段の新たな選択肢となりました。

【福島智さんからの

メッセージ】

寛仁親王殿下が深くかわかっておられる賞と聞いて「ありのまま自立大賞」の受賞は、とり

わけ嬉しかった。殿下という人が、そもそもあまり人を褒めない、むしろ率直にズバっと指摘する方だと思っていたからだ。あれから20年。障害関連での大事件は、やはり相模原事件だろう。もし殿下が「存命だったら、なんとおっしゃるだろう?」

「福島、障害者の側からこの社会の価値観をひっくり返す『革命』を起せ!」とでもおっしゃったのだろうか。

本賞におしえられたことは、「ありのまま生きること」こそが、すなわち「自立なのだ」ということである。

第10回(2008年)

ありのまま自立支援功績賞

岩田 美津子 様

岩田さんは先天性緑内障で全盲となりました。自らの経験でお子さんと一緒に絵本を楽しむ喜びを同じ視覚障害の方と分かち合いたいと「てんやぐ絵本」を開発され、点字つき絵本の普及にも大変尽力されました。「てんやぐ絵本ふれあい文庫」の代表を務めておられます。これまでたくさんの方が点字付き絵本として出版されています。

【岩田美津子さんからの メッセージ】

「受賞から13年」

ふれあい文庫はてんやぐ絵本の製作と貸し出しを一貫して行う国内唯一のボランティア団体です。活動を始めてから間もなく38年になります。そんな中で、2008年に「ありのまま自立支援功績賞」を受賞できたことは、大きな励みとなりました。

見えない人がいつでもどこでも絵本を楽しめることを目指して、活動の幅を広げ、絵本出版社に点字つき絵本の出版を呼び掛け、製作にも協力し、今では26タイトルの点字つき絵本が書店で購入できるようになりました。これからは誰もが分け隔てなく絵本を楽しめる環境を整えるために、力を尽くしていきたいと考えています。

20年をふり返って

選考委員の皆様より

大熊由紀子選考委員

【国際医療福祉大学大学院教授・元朝日新聞論説委員】

「自立」という言葉は、日本では「根性でがんばれ」としばしば誤解されます。国際的な意味での「自立」は、自己決定にもとづいて福祉サービスを利用し、地域で暮らすこと。隔離や

差別から自由な、魂の自立のことです。

それを「ありのまま」という言葉であらわし、真の自立を実践している方々を「ありのまま自立大賞」という名前で社会に広めてきたこの賞は、ふつうの賞と趣が違います。

日本人の価値観を変える一種の思想運動です。20年前にこの賞を始めた山田富也さんと、「ともさん」こと寛仁親王殿下の先見の明は、凄いと思います。

この思想を、寛仁親王殿下は、患者と医師の関係にも持ち込まれました。1994年朝日新聞が開いたシンポジウム「医師が変わる患者が変わる」で、自身の患者としての体験を踏まえて、「患者の自立」を説きました。インフォームド・コンセントという言葉が知られていてないころの話です。

それをユーモアでくるんでお話しになり、紙面を通じて、社会的に影響を与えました。この賞を決める会議は、長いこと殿下のお屋敷で開かれ、妃殿下が紅茶やお菓子を運んでくださったりしました。

たびたび飛び出す殿下のジョークで笑いが絶えなかった、あのころの審査風景が、なつかしく思い出されます。



奥平真砂子選考委員

【公益財団法人笹川平和財団人材開発部 特任調査員・第8回ありのまま自立功績賞受賞者】

ありのまま自立大賞、自立支援大賞20年、おめでとございませう。

「どんなに重度の障害があっても自立生活を送ったり、他の人をサポートしたりできる」そんな障害者にスポットをあてたいとの思いから、この賞が生まれたと聞きました。

東京大学の福島智教授にはじまり、東俊裕弁護士や今は亡き三澤了さんなどの名だたるリーダーが受賞されています。皆日本の障害者の自立生活の推進に尽力されてきた方々です。

私も平成2006年にありのまま自立支援奨励賞をいただきました。これからは国内外の障害者のために力を尽くしていきたいと思っています。

寛仁親王殿下と山田富也専務理事が掲げた「自立」の概念は今も受け継がれています。受賞された方々がさらに活動を広げられ、活躍されている姿に自立大賞の意義を改めて知ることができます。

次号では選考委員長のお言葉、歴代受賞者、選考委員の方々からのメッセージを掲載させていただきます。

西多賀エリア

【法人本部】

拡大感染防止委員会

毎月第3水曜日に法人主催で拡大感染防止委員会を行っています。主に新型コロナウィルスについて法人として統一した現状認識や感染対策について協議が行われています。現在は感染対策を十分に行った上で時間や人数等を制限しての面会、通院や区役所など必要な外出は可能となっています。

9月頃から感染者が減少傾向にあり感染対策の見直しや緩和について協議が行われました。社会では行動制限が緩和されていますが、新型コロナは未だに解明されておらず、治療薬も開発段階であり、また社会の動きが今後の流行にどうつながっていくのか動向をみる必要があります。法人としての感染対策を変え判断は難しいというのが大半の意見です。一方で、なぜありのまま含は緩和されないのか、いつまで自粛が続くのか質問をいただく方もでてきており、丁寧な説明（それに代わる方法）が必要になってくる時期であるという意見もありました。いつ誰かが感染する可能性があることとは変わりありません。リスクをなるべく減らし生命を守る対応を最優先にしなればと思います。

【自立ホーム仙台ありのまま舎リビングセンター】

新型コロナウイルスの流行がまもなく2年になります。感染症対策のため通院と区役所での手続き等以外の外出は自粛いただいております。自立ホームでは外出自粛で生活の様子が変わりました。週5回就労に通われていた方は週1回に日数を減らし、在宅ワークが中心になりました。料理が大好きで自分で買物に行くことが好きだった方はホームに買物物を依頼することに変わりました。ご家族と定期的に映画や買い物に行かれていた方は現在も自粛をしていただいております。

自立ホームでは月1回ホームからのお知らせや入居者からのお話を聞く機会として「入居者会議」を行っています。なぜ感染症対策を続けなければならぬか説明をさせていただきます。入居者の方には毎回お願いやご協力のお話が多く、大変なご負担をかけてしまっていることを思います。しかし一部緩和をし、万が一感染者が出た時のことを考えると入居者、スタッフの生命を守るためにここで気を緩めてはいけないう運営側の葛藤も常に感じながらの日々です。

(佐藤環)

【サポートケア仙台ありのまま舎】

【難病・障害者相談支援センター】

先日、特別支援校にてサービスマン担当者会議を行い、ご家族、支援学校の先生、放課後等デイサービス事業所の方に出席して頂きました。それぞれから近況を報告頂いた中で、始業式でステージに上がり、全校生徒の前で頑張りたいことを発表できたことや、自分の好きな本を読んでも、時間にならたら切り上げられるようになったこと、集団での活動から離れずに参加できるようになったことなど、1年前と比べて大きく成長していることを、皆さんで共有することができました。

放課後等デイサービス事業所の方からは、送迎の際に先生とお話する機会があるものの、短時間なので、こうやって情報共有の場を設けて頂けると、学校・家庭・他事業所での様子を詳しく知ることができ、支援の参考にもなるので、有意義な時間でしたというお話がありました。コロナウィルス感染防止の為、電話でやり取りすることも多くなりましたが、直接お会いしお話を伺う大切さを感じた時間となりました。

(石黒ゆに)

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】

【メデイカル】

全国的にコロナウィルスの感染者数が減少傾向に推移している中、新たな変異株やブレイクスルー感染・他県におけるリバウンドの兆候などを含め第6波が予期されているところですが、インフルエンザ流行の時期にもなってきました。入居者・利用者の感染症への罹患のリスクや日々の体調管理また職員の体調も含め細心の注意を払いながら業務にあたっています。

この冬はインフルエンザの流行が危惧されており、コロナ第6波との同時流行も心配です。今年インフルエンザワクチンの生産量・流通量とも不安定で、メデイカルセクションでは、その手配にも奔走しており十分なワクチン数の確保が厳しい状況にあります。入居者分の確保は何とか間に合う見通しで11月中にはワクチン接種が済む予定でいます。

インフルエンザの流行に備え予防接種を終えている方もいると思いますが、皆さんと共に入居者・利用者の感染症への流行・リスクに備えるべく他のセクションと協力しながら日々の体調と健康に気を配りながら変わらぬ業務にあたりたいと思いません。

(太白メデイカル)

各種税務申告・相談、会計業務を通じて、地域社会への貢献を目指します。

熊谷会計事務所

税理士

熊谷 真人

公認会計士・税理士

熊谷 真宏

仙台市青葉区中央3-2-1

青葉通プラザ

Tel(022)264-0952

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】 避難訓練 ～入居者の重度・重症化への取り組み～

太白ありのまま舎では3月と9月の年2回、避難訓練を行っています。今回は入居者16名、夜勤スタッフ3名(ナース1名を含む)、宿直者1名、宿舎応援2名の合計22名が参加しての訓練となりました。

訓練の内容は夜間の火災を想定し、左記の流れで行いました。
①非常ベルを合図に1階スタッフフロームの警報盤前にスタッフが集合する。

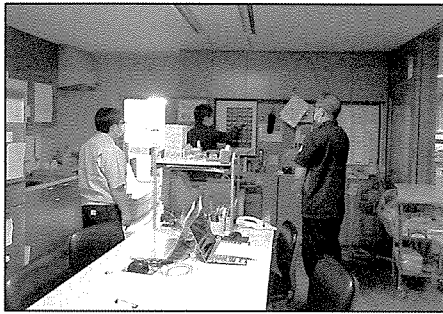
②宿直者の指示のもとに警報盤の点灯箇所と系統図を基に実際の火元確認をする「出火場所の確認」

③火元に向かって消火器で15秒間放射体勢を維持する「初期消火」

④大きな声で出火場所を伝えながら避難する「避難誘導」

⑤全員が無事に避難完了したかを確認するための「点呼」

初めて訓練に参加するスタッフもおりましたが、入居者の状態に合わせて、自力避難が可能な方は自力で避難し、自力避難が困難な方にはスタッフの介助による避難を行いました。火災の延焼を防止するための「防火戸の閉鎖」など、参加者みなさんが真剣に取り組んでいました。



警報盤をみて出火場所の確認

ながらの訓練となりましたが、動きも良くしつかり声も出ていて、緊張感が伝わる、良い訓練となりました。

入居者の重度・重症化が進む中、避難の仕方も変化しており、入居者、スタッフ間で情報を共有しながら、日頃より防火防災意識を高め、火災や災害が発生した場合でも発見から点呼までの流れをスピード感を持って行動出来るよう、より実践に近い訓練を積み重ねながら緊急時に備えたいと思います。

(森祥一)

【チャイルドケア

仙台ありのまま舎保育園】

心地よい秋を感じていたら、急に肌寒くなり、もうすぐ冬なんだなと実感しているこの頃。今年は寒さが厳しい冬となるそうですね。温かいものを食べてお風呂にゆっくり入って、心も身体も温めて感染症に強い身体を作っていきましょうね。

身体が疲れていると、心も疲れていきます。先月は夏の疲れが出てきた頃に、急な寒さも重なり、子どもたちは風邪をひいてしまいました。ご家庭で早めに通院し、ゆっくり休んで頂きました。一日でも家族とゆっくり休んだことで心が休まり、表情も良くなり、長引くことなく治っていきましました。

まだまだ月齢が小さい子どもたちは、疲れた、具合悪いと言葉で伝えることが難しいので、身体がなんだかいつも違うなという時はぐずぐずしたり、夜泣きをしたり、くっついていたり、つたりと、何かしらサインを出しています。なんだかイライラしていることもありますね。

長時間、家庭と離れて頑張っています。体力的にだけではない、心も疲れて甘えたくなくなることは大人と一緒に頂けたら、子どもたちも健やかに過ごしていけますね。

(春日麻里)

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

今回の、「相談支援事業所ではこんなこともやっています！」では、基本相談についてです。

今回は地域生活の困りごとについてです。ご自宅の目の前にゴミ集積所があり、その臭いなどがひどいということや困っている方でした。もともと生活資金にもお困りだったため、関係機関が就労についての支援を行いながら、当舎で生活の部分の支援を行っていただきました。そのような中、経済的な支援について一定の方向性が見えてきたところで、ケア会議を行い、その場に地域の関わりに詳しい民生児童委員の方にもご参加いただき、ごみ集積所の移動を含めた支援についてお願いし、地域の区長さんへの働きかけを行っていただきました。今回、初めてお会いさせていただいたので、とても迅速に動いていただき、さっそくごみ集積所の移動を行っていただきました。私たちは困りごと全てに対応することとは難しく、それぞれの分野に詳しい方とのつながりを持ちながら困りごとに対応していきませう。そのような中、関係機関の方との連携がとても大事だと感じた機会でした。

(佐々木晃)



親切、信頼、清潔、
お客様を第一に考えた。

東洋リネンサプライ株式会社

宮城県黒川郡大和町鶴巣大平字下碓57

TEL 022-343-2114

URL <http://www.toyo21.co.jp>

【難病ホスピスケア 亘理ありのまま舎】

「メディカル」

毎年の事ですが、この時期になると流行が懸念されるのがインフルエンザです。昨シーズンは、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行も危惧されましたが、全国的に感染者数は例年より大幅な減少をみせました。

様々な見解があるようですが、減少の大きな要因として、マスクの着用や手洗い等、新型コロナウイルスへの感染対策がインフルエンザにも効果があったのではないかと専門家は説明しています。

亘理ありのまま舎では、11月から入居者の皆さんのインフルエンザワクチン接種を予定しています。今年には供給量が少なくなるとの噂もあるようですが、何とか人数分のワクチンを確保する事が出来ました。

最近では新型コロナウイルスの感染者も減少傾向にあり、行動制限が緩和されつつあります。このまま収束に期待したいところですが、第6波への備えが必要ですが、ワクチンを受けることもひとつの手段ではありますが、まずは身近なところで出来る感染対策を今後も継続していきたいと思

(加藤貞紀)

【サポートケア亘理ありのまま舎 基幹相談支援センター】

新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期していた、支援者向け研修「障害者の虐待防止研修」現場の悩みにお答えします！

「〜」を、11月11日(木)に開催することに致しました。講師に、NPO法人宮城福祉オンブズネット「エール」の副理事長・小湊純一氏をお迎えし、講話を頂く予定です。

参加希望者からの事前質問では「虐待になるのかの線引きや見極め方が分からない」「支援をする中で、必要と思う対応も虐待に当たるのか」等が寄せられています。

支援者が「良かれと思って」行っている対応が、障害のある方にとっては、良くない不適切な支援になることもあります。それを防ぐ為には、私たち支援者が、正しい知識を習得することはもちろんですが、「支援者自身が、一人の人間として大切にされる必要がある」と、小湊氏はおっしゃっていました。本研修会の内容については、後日、当法人のホームページで報告したいと思えます。是非、そちらもご覧ください。

(馬場美和)



【サポートケア 県南ありのまま舎 難病・障害者相談支援センター】

県南ありのまま舎は亘理町・岩沼市の委託相談支援事業所となっており、今回は参加している岩沼市の自立支援協議会の活動についてご紹介したいと思います。

岩沼市の自立支援協議会は全体会、生活支援部会、子ども支援部会、各部会の運営会で構成されています。生活支援部会では、委託相談支援事業所として日々の支援で感じた、地域の困りごとを解決するためにどうしたら良いか話し合いをしています。例えば「市内にある福祉サービス事業所があるのかまとめた書類があると分かりやすいよね。」と話が出て、事業所マップを作成中です。今年度中の完成を目指して、部会で修正・チェックをしている所です。

このように相談支援の中で感じた困りごとを解決するにはどうしたらよいか話し合い、具現化することで、地域でより過しやすい生活を送るお手伝いができればと思います。

(清野麻紀)



「ご支援頂きありがとうございますございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】

21 9/26〜10/26

(鈴木一彦)

【バザー提供】

21 9/23〜10/25

「ボトルカンパありがとうございました(敬称略)」

21 9/26〜10/26

サンマリ国見店(青葉区)

17,101円

昨年もおきなお支えを頂きました。お客様が店員の方と楽しくお話しされている光景を拝見し、地域の皆様に愛され

ているお店であるのを肌で感じました。

フレッシュフードモリヤ落合店(青葉区) 8,541円

JR駅の近くにあるスーパで、商品が整然と並んでおり大変見やすく買い物がしやすいお店です。永年にわたりましてご協力を頂いております。

【バザー開催日のご案内】

- 11月
 - 27日(土) ショップセル (仙台ありのまま舎)
 - 30日(火) 袋原(向日葵ライフ) サポートセンター・太白区
- 12月
 - 2日(木) ヨルクマルシェ夫和町店 (若林区)
 - 7日(火) ヨルクベマル山田鈎取店 (太白区)
 - 9日(木) 鶴之介年鮮いちば (宮城野区)
 - 14日(火) ヨルクベマル南宮成店 (青葉区)
 - 21日(火) ヤマザワ茂庭店 (太白区)
 - 23日(木) 鶴之介年鮮いちば (宮城野区)
 - 25日(土) ショップセル (仙台ありのまま舎)
 - 28日(火) 袋原(向日葵ライフ) サポートセンター・太白区

ありのまま舎からのお願い

ご寄付のお願い

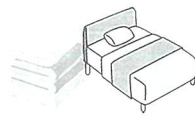
施設運営、感染症対策等、難病や障害を持った方々を支援する拠点の運営のために活用させていただきます。
(寄付金控除または、税額控除を受けることができます。)

【寄付の流れ】

電話またはメールなどでご連絡ください。会報「自立」に同封している郵便局の振込用紙もご利用できます。入金確認後、寄付者様へ領収書を郵送させていただきます。

バザー協力のお願い

バザー会やありのままショップにて活用させていただきます。毎週水曜日に仙台市内の提供先を回っています。提供いただきたい商品です。



新品タオルやシーツ類



日用雑貨



食品類

書き損じはがきのお願い

書き損じたハガキや使わずに残った年賀ハガキ、未使用の切手などを募集しています。また、商品券なども集めています。

【お申込みお問い合わせなどお気軽にご連絡ください。】
社会福祉法人ありのまま舎(仙台市太白区西多賀4丁目19-1)

TEL 022(243)1300 FAX 022(243)0322

ありのまま舎後援会 (敬称略)

21 9 / 16 ~ 10 / 15

【2021年度個人会費】

【2021年度法人会費】

【2021年度賛助会費】

継続して会費のご支援をいただきありがとうございます。
(事務局 佐藤環)

【後援会員を募集しています】

年々会員数が減少しています。ありのまま舎活動を支えてくださる後援会員を募っています。

【令和3年度会員数】

個人 125名・賛助28名
法人 30団体

◆年間会費

- ・個人会員 10,000円
 - ・法人会員 20,000円
 - ・賛助会員 3,000円
- 年間の会費をありのまま舎へ寄付させていただきます。途中退会も可能です。

【お申し込み】

会報「自立」に同封の郵便振替用紙に「後援会」とご記入ください。お気軽にお問い合わせいただけます。
(担当 佐藤)

【自販機販売設置支援】

◆サントリーブバレッジ

9月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop
宮城推進本部 1,764円

ありのまま舎(自立ホーム)・
太白ありのまま舎・サポートケ
ア泉南・亘理ありのまま舎
15,507円

◆株式会社ミチノク

21 7 / 9月分売上

寺嶋建設工業株式会社

8,799円

泉南エリアコミュニティ地域生

活支援拠点

日下亜弥様
6,378円
1,348円



各事業所に設置し、入居者の皆さん、スタッフ、地域の皆さんにご利用いただいています。また会社や個人の自宅前にも設置していただき、ご支援をいただいています。

「ご協力ありがとうございました」 (敬称略)

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。コロナ禍の中、対策を取りながらのお手伝い感謝いたします。

◆会報の折り込みは、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、日本基督教団東北教区婦人会の仙台ホサナ教会の皆様が礼拝の後などの時間にお手伝いいただきました。また、自立ホーム入居者有志の皆様にも体調をみながらお手伝いいただいています。

◆バザー会では、コロナ感染症予防対策を行いながら、各会場やショップセールでお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

コロナ感染症予防の対策のため、入館の制限など継続しているため、ヴォランティアの皆様は、当面お休みの予定です。

◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会(書道)◆宮城原車いすダンス協会様による「車いすダンス」が再開できる日を、入居者の方々と共に心待ちにしております。

(中村悦子)